

第1回 養老町立小学校再編準備 施設通学部会 事項報告

日時: 令和8年6月15日(月)19:00～20:30

場所: 養老町役場3階 会議室

出席者: 13 名(欠席者なし)

内訳: 施設通学部会委員 11 名(事務局 2 名含む)

早崎教育長、中島教育委員会事務局長

【進行: 安田部会長】

協議事項: 集合場所の選定・集約について

(部会長より)

- ・低学年のことを考慮すると、バスの乗車時間は30分以内を基本として考えたい。
 - ※国の基準では1時間以内を目安としている
- ・現行は、徒歩で30分以上かかる地区において、スクールバスを運用している。学校再編後も同じ条件で対応可能か検討していく。
- ・スクールバスは最大49名乗車のバスを想定する。
- ・台数になるべく減らす方法を考えないと、多額の予算がかかることになるため、歩けるところは歩く、集約化するなど、運行時間の削減の知恵が必要と思われる。

(以下意見を求める)

- ・現在スクールバスを使っているところの現状は？
 - 養老小学校ではすでに1台で3往復、地域で差が出ないように、学期ごとで送迎の順番を変えている。
- ・バスは小型にすると、運転手の数が必要になる(ため、難しいのでは)
- ・留守家庭は再編先の学校で行うのか？元の学校単位で行うのか？それによって、スクールバスの稼働時間も変わるのでは。
 - Yorofficeを留守家庭教室の開室先として利用してはどうか
 - ・保護者としては、資格者の設置や保険関係が解決できるかが気になる。
- ・スクールバスだけでなく、自家用車での有償運送やボランティアの活用はどうか
 - 送迎には資格や許可が必要で規制が厳しいのではないか。
- ・オンデマンドバスを現行の運用時間外で活用できないか
 - 現在6台を8:30～17:00で運用している。朝8:00までの登校用途での活用なら物理的には可能なため検討の余地あり。下校時間については通常運行時間と重複してしまう(ため難しいと

思われる)。

・短時間の業務委託という方法はどうか。

→オンデマンドバスでも、すでに委託先がドライバーの確保に苦心している状況。短時間業務委託という形で人手が集まるかはなかなか難しいと思われる。

・低学年は介助が必要な場合があり、運転手とは別に介添え人(アルバイト等)の配置が必要になるかもしれない。

→見守り隊の形を変えていく必要がある

・烏江駅周辺だと笠郷小学校のほうが近く、広幡地区は養老小学校のほうが近い場合があるが、校区の変更の可能性は？

→中学校区基準での(養老小学校・笠郷小学校への)振り分けのため、校区変更はできない。

・集合場所をどうやって決めていくか。

→PTA・保護者会だと、通学路を把握しているので、そのあたりの会からも情報を得るとよいのでは

・地区の代表から、この場所、という候補を挙げてもらってはどうか。

→候補を挙げたうえで、経路や集合場所の安全性などを検討していく

・今までの通学路とは、通う場所・方向が変わるので、その点も意識したうえで集合場所の選定が必要と思われる。

[スクールバスの運行には、道路の幅員 6mが必要]

・ルートによっては、渋滞が発生することも考慮に入れる必要があるのでは。

今後の進め方とスケジュールについて

- ① スクールバスが通行可能な幅員の道路と現在の集合場所を重ねた図面を小学校区ごとに作成する。
- ② 各地域にて、集合場所案の検討、洗い出しを行う
- ③ 第2回施設通学部会にて提出

第2回施設通学部会 9月下旬予定

候補日:9月28日・29日・30日の 19時～

(安田部会長より)

こども会などでも情報共有してほしい。